



県章

令和5年度 沖縄県職員採用初級試験案内

令和5年7月3日
沖縄県人事委員会

第1次試験日 令和5年9月24日(日)
申込受付期間 令和5年7月10日(月)から7月31日(月)まで

令和5年度試験のポイント

- 技術系試験区分(土木及び農業土木)について、教養試験と専門試験の配点を見直しました。
【令和4年度】教養(100)：専門(100) ⇒ 【令和5年度】教養(80)：専門(120)

1 試験区分、採用予定数及び職務内容

受験申込みは、次の試験区分のうち1つに限ります。また、中級試験との重複申込みはできません。

試験区分	採用予定数	職務内容	主な配属先
一般事務	若干名	防災、基地渉外、県政の総合企画、文化振興、環境保全、福祉・医療、農林水産業振興、観光・商工業振興、雇用対策、社会基盤整備、教育、水道等の幅広い分野に関する各種施策の企画立案を始め、県税の賦課徴収、市町村支援、許認可、企業誘致、用地取得、庶務・経理等の様々な業務に従事します。	本庁各部、出先機関(県税事務所、福祉事務所、保健所、土木事務所等)、教育庁、企業局、病院事業局、県議会事務局、各種行政委員会等
土木	若干名	道路、河川、港湾、海岸、空港、上下水道等の様々な社会基盤整備に関する企画・設計・施工監理等の業務に従事します。	本庁土木建築部、土木事務所、企業局等
農業土木	若干名	ほ場、かんがい施設、農業道路整備に関する企画・設計・施工監理等、主に農業に関するインフラ整備に従事します。	本庁農林水産部、農林水産振興センター、農林土木事務所等
警察事務	若干名	予算編成・執行、給与事務、福利厚生等のほか、指紋等を鑑定する業務、犯罪や事故の統計分析、交通規制、コンピュータシステムの開発等多岐にわたる業務に従事します。※当直や交替制の勤務場合があります。	警察本部、各警察署等

注1 採用予定数については、変更になる場合があります。

2 上記の「若干名」については、採用予定数が1名から4名までの場合に用いています。

問合せ先・受験申込先

沖縄県人事委員会事務局総務課

〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2(県庁行政棟2階) 電話：098-866-2545

台風等による試験日程の変更その他緊急連絡は、下記の沖縄県人事委員会事務局ホームページ「沖縄県職員採用試験のお知らせ」に掲載します。インターネット(スマートフォン利用可)での受験申込み、下記ホームページから行うことができます。

https://www.pref.okinawa.jp/site/jinji_i/8481.html

人事委員会HP



沖縄県職員採用試験



2 受験資格

(1) 年齢

平成14年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた者。

ただし、大学における在学期間が2年を超える者を除く。

注 大学とは、学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する大学（短期大学を除く。）をいう。

(2) 国籍条項

日本の国籍を有しない者も受験できます（「警察事務」の試験区分を除く。）。ただし、日本の国籍を有しない者は、公権力の行使又は公の意思形成への参画に携わることはできないとする公務員に関する基本原則に基づき任用されます。また、採用に当たっては、「就職が制限されない在留資格」であることが必要です。

(3) 欠格条項

地方公務員法（昭和25年法律第261号）第16条に規定する次のいずれかに該当する者は、受験できません。

ア 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

イ 沖縄県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者

ウ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3 試験の日時及び場所

試験	日時	試験地
第1次試験	9月24日（日） 一般事務及び警察事務：9時00分から12時00分まで 土木及び農業土木：9時00分から15時30分まで	名護市 那覇市 沖縄市 西原町 宮古島市 石垣市
第2次試験	10月下旬から11月上旬までを予定していますが、試験の日時、試験会場等については、第1次試験合格発表後に人事委員会事務局ホームページでお知らせします。	

注1 沖縄本島内の第1次試験の試験地「那覇市」「沖縄市」「西原町」については、受験申込み締切後に決定しますので、受験申込み時に「那覇市」「沖縄市」「西原町」のいずれかを指定することはできません。また、都合により沖縄本島内の他の市町村に変更する場合がありますので、試験会場については、受験申込み後に沖縄県人事委員会が交付する受験票で確認してください。

2 点字による受験の場合は、試験時間が一部変更となるほか、試験地を指定することがあります。

3 試験日の約1週間前に、第1次試験の会場周辺図を沖縄県人事委員会事務局ホームページに掲載します。

4 試験会場へは公共交通機関等を利用し、自家用車、オートバイ等の乗入れ又は会場周辺での無断駐車（送迎車を含む。）はおやめください。無断駐車が判明した場合は、試験会場から退場していただくことがあります。

5 試験会場（敷地内を含む。）は、全て禁煙です。また、ゴミは試験会場に捨てずに各自持ち帰ってください。

4 試験の方法、配点等

試験は第1次試験及び第2次試験とし、第2次試験は第1次試験合格者について行います。

試験	試験区分	試験種目 (配点)	内容
第1次試験	一般事務 警察事務	教養試験 (100)	公務員として必要な一般的な知識及び知能（社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理・資料解釈）についての択一式（50問）による 高等学校卒業程度 の筆記試験を行います。（2時間30分）
	土木	教養試験 (80)	公務員として必要な一般的な知識及び知能（社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理・資料解釈）についての択一式（50問）による 高等学校卒業程度 の筆記試験を行います。（2時間30分）
		専門試験 (120)	土木に必要な専門的知識、能力等（数学・物理・情報技術基礎、土木基礎力学（構造力学、水理学、土質力学）、土木構造設計、測量、社会基盤工学、土木施工）についての択一式（40問）による 高等学校卒業程度 の筆記試験を行います。（2時間）
	農業土木	教養試験 (80)	公務員として必要な一般的な知識及び知能（社会、人文、自然、文章理解、判断推理、数的推理・資料解釈）についての択一式（50問）による 高等学校卒業程度 の筆記試験を行います。（2時間30分）
		専門試験 (120)	農業土木に必要な専門的知識、能力等（農業土木設計、水循環、測量、農業土木施工、農業に関する基礎（農業と環境、農業情報処理等））についての択一式（40問）による 高等学校卒業程度 の筆記試験を行います。（2時間）
第2次試験	一般事務 警察事務	口述試験 (60)	主として人物について個別面接による試験を行います。なお、作文試験の前に適性検査を実施し、その結果については、個別面接の参考とします。
		作文試験 (30)	思考力、文章構成力及び表現力についての筆記試験（600字以内）を行います。（1時間）
	土木 農業土木	口述試験 (120)	主として人物について個別面接による試験を行います。なお、作文試験の前に適性検査を実施し、その結果については、個別面接の参考とします。
		作文試験 (60)	思考力、文章構成力及び表現力についての筆記試験（600字以内）を行います。（1時間）

注1 第1次試験はマークシート方式で行いますので、筆記具（鉛筆、消しゴム）を持参し、机の上には筆記具及び時計（スマートフォン・スマートウォッチ等不可）のみ置くようにしてください。また、試験会場の冷房などによる温度変化に対応できる服装で受験してください。

2 第1次試験における教養試験及び専門試験の得点は、次の方法を用いて算出します。その結果、「配点」を超える場合があります。

○教養試験の得点…一般事務及び警察事務は標準点を得点とし、土木及び農業土木は標準点に0.8を乗じた数を得点とする。

○専門試験の得点…一般事務及び警察事務は標準点を得点とし、土木及び農業土木は標準点に1.2を乗じた数を得点とする。

$$\text{標準点} = \frac{\text{各受験者の粗点（正解数）} - \text{各試験区分ごとの粗点の平均点}}{\text{各試験区分ごとの粗点の標準偏差}} \times 10 + 50$$

3 各試験種目には一定の基準があり、1つでも基準を満たさない試験種目がある場合は、不合格となります。

4 所定の試験種目を全て受験した場合に有効に受験したものとし、棄権した試験種目が1つでもある場合は、他の試験種目についても採点を行いません。

5 「一般事務」及び「警察事務」の試験区分については、点字による受験が可能です。点字による受験を希望する方は、受験申込み前に必ず人事委員会事務局総務課に連絡してください。

6 第1次試験の問題例題及び過去の作文試験の課題については、沖縄県人事委員会事務局ホームページ又は沖縄県行政情報センター（県庁行政棟2階）で閲覧できます。

5 合格者の発表

区分	発表日	方法
第1次試験合格者	10月6日（金）	沖縄県人事委員会事務局ホームページ（アドレスは1ページを参照）に掲載するほか、沖縄県人事委員会事務局（県庁行政棟2階）の掲示板に掲載します。なお、第1次試験合格者については、郵送による通知は行いません。 また、最終合格者には、後日、郵送により通知します。
最終合格者	11月下旬	

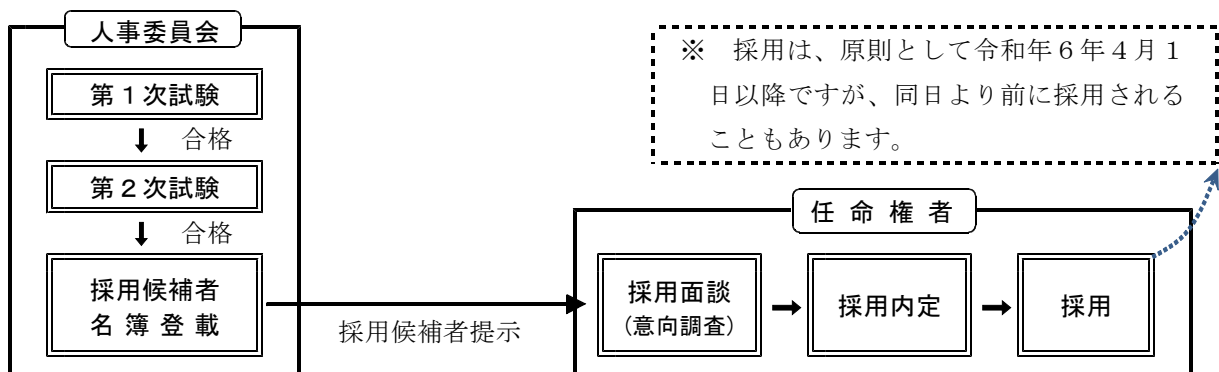
6 試験結果の提供

試験の結果については、口頭による情報提供依頼を行うことができます。本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証、旅券等）及び受験票（合格通知を含む。）を持参の上、開庁日の9時から17時15分まで（12時から13時までの間を除く。）の間に、沖縄県人事委員会事務局総務課までお越しください。なお、電話、メール等による提供依頼には応じられません。

提供する内容	提供依頼できる人	情報提供期間
第1次試験の試験種目別得点、合計得点及び順位	第1次試験合格者	最終合格発表日から令和6年3月31日まで
	第1次試験不合格者	第1次試験合格発表日から令和6年3月31日まで
第2次試験の試験種目別得点並びに総合得点及び総合順位	第2次試験受験者	最終合格発表日から令和6年3月31日まで

7 受験から採用まで

(1) 最終合格者は、試験区分ごとに作成する採用候補者名簿（当該名簿は、確定日から原則1年間有効）に登載されます。各任命権者は、人事委員会が提示する当該名簿に記載された者の中から採用者を決定します。なお、受験資格がないことが判明した場合は、合格を取り消します。



(2) 任命権者とは、知事部、教育庁、病院事業局、警察本部及び企業局等を指します。

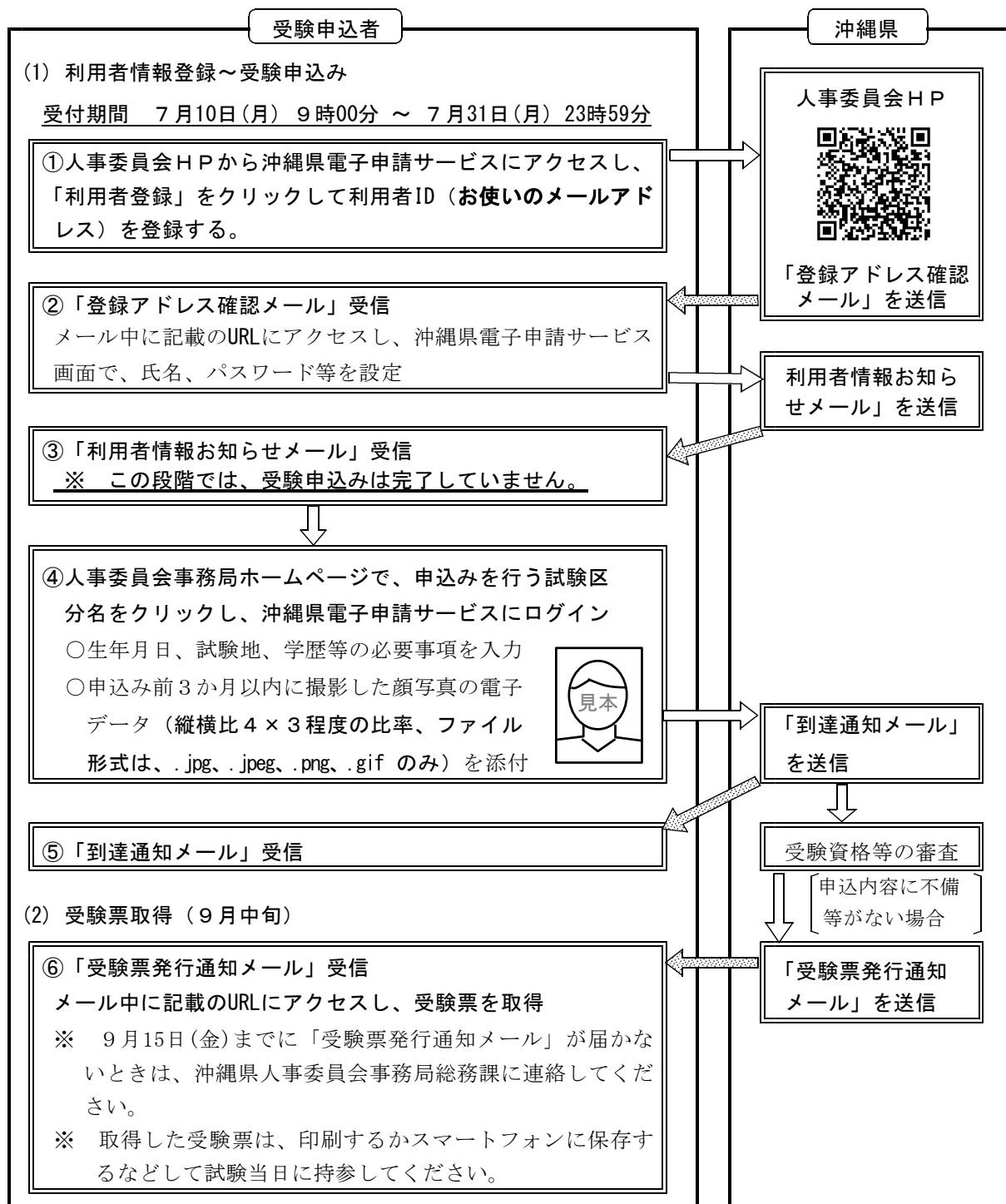
(3) 最終合格者の数は、年間の採用予定数と採用辞退者等の見込数を考慮して決定します。したがって、採用辞退者数等の状況によっては、最終合格しても採用されない場合があります。

(4) 令和5年4月1日現在、初任給は154,600円で、経歴その他に応じてこの額以上になります。このほか、扶養手当、住居手当、期末手当、勤勉手当等が支給条件に応じて支給されます。

8 受験手続（原則、インターネットによる申込み ※スマートフォン利用可）

沖縄県人事委員会事務局ホームページ（https://www.pref.okinawa.jp/site/jinji_i/8481.html）にアクセスし、ホームページに掲載している「電子申請の操作手順」に従って、受験申込みを行ってください。

なお、車椅子での受験など配慮を必要とする方、点字又は拡大文字による受験を希望する方は、申込み前に必ず沖縄県人事委員会事務局総務課に連絡してください。



注1 申込み後は、申込みをした試験区分及び第1次試験地の変更は認めません。

2 沖縄本島内で受験を希望する場合、第1次試験地については「名護市」又は「那覇市、沖縄市、西原町等」を選択してください（受験地「那覇市、沖縄市、西原町等」については、受験申込み締切後に決定するため、受験申込み時に「那覇市」「沖縄市」「西原町」のいずれかを指定することはできません。）

- 3 申込内容等に不正があると、不合格になることがあります。
- 4 予期せぬシステムトラブルについての責任は一切負いません。
- 5 インターネットでの申込みができない方は、人事委員会事務局総務課までお問合せください。

9 個人情報の取扱い

本試験の実施に際して収集した個人情報は、次の目的に利用します。

- (1) 試験の実施に関する事務
- (2) 受験者台帳及び採用候補者名簿の作成（受験者及び合格者に係るデータベースの作成含む）
- (3) 試験に関する連絡及び情報提供（試験結果の提供を含む）
- (4) 任命権者（知事部・教育庁等）による採用に関する事務